

# 国際スポーツ雪かき選手権 IN 小樽 2014 活動報告書

---

## 国際スポーツ雪かき選手権 in 小樽 2014 活動報告書

一般社団法人日本スポーツ雪かき連盟

平成 26 年 2 月 17 日

### 1. はじめに

雪国特有の除雪問題をスポーツによって解決しようとする試みと、厄介者の雪を新たな観光コンテンツにしようとする試みを同時に実現しようとする趣旨に賛同し、実行委員会を組織、準備から大会運営まで携わっていただいた小樽商工会議所青年部の皆さま、並びにご協力いただいたすべての皆さまに感謝するとともに、この取り組みを継続、発展させることで小樽市の活性化に貢献したいと考えております。

今後のスポーツ雪かき発展のため、活動報告書をまとめることといたしました。

ご一読いただきますと幸いです。

### 2. 主旨

豪雪地帯にとって雪は厄介者。近隣住民が協力し合って毎日雪かきをしなければ生活できません。

しかし、過疎と高齢化が進む地域では雪かきの担い手が不足し、落雪事故や生活路の遮断を引き起こすなど、深刻な社会問題になりつつあります。このような現状を全国に知ってもらうと同時に、除雪困難地域を救済すべく、単純重労働の雪かきにルールを策定し、大勢の参加者を募り、チーム戦で除雪量を競い合う競技にしたのがスポーツ雪かきです。

すでに、全国的に知られているスポーツ GOMI 拾いのコンセプトである「スポーツの力で社会課題を解決する」を共有して誕生しました。

チームプレーを磨き、勝敗を競うスポーツならではの楽しさと、参加者だけが得られる達成感や爽快感を与えると同時に、参加者同士、住民を巻き込んでの交流イベントを併設することで、地域に活力を与えることを目的として日本スポーツ雪かき連盟を設立しました。

当連盟は、小樽商工会議所青年部観光振興部会のメンバーとともに、スポーツ雪かきのルールとレギュレーションを定め、同じ悩みを抱える地域の見本としてもらうべく、国際スポーツ雪かき選手権 in 小樽を開催することといたしました。

小樽市は国際観光都市としての知名度が高いことから、スポーツ雪かきを冬のアクティビティとしてインバウンド誘致を目的とした観光コンテンツ化することで、国際交流を促進し地域活性化に貢献できると判断。特に、雪に憧れる東南アジアなどの地域の人々にも参加を促すプロモーション活動に取り組んでいます。

豪雪地帯にとって雪は厄介者ですが、雪の降らない地域にとっては憧れの存在。視点を変えることで、地域の弱みを強みに変えるこの取り組みを小樽モデルとして、全国への普及を目指して参ります。

# 国際スポーツ雪かき選手権 IN 小樽 2014 活動報告書

---

## 3. 大会概要

開催日 2014年1月25日(土)、26日(日)  
参加人数 19チーム(76名)  
メイン会場 小樽港第三号埠頭多目的広場 小樽運河そば  
参加費 1名3,000円 ※ 用具レンタル費、保険代、懇親会費含む

主催 国際スポーツ雪かき選手権実行委員会  
後援 小樽市、小樽市教育委員会、小樽観光協会、小樽青年会議所、  
小樽商工会議所、小樽商工会議所青年部、小樽法人会 青年部、  
北海道中小企業家同友会しりべし・小樽支部 青年部、  
北海道新聞小樽支社(順不同)  
公認 一般社団法人 日本スポーツ雪かき連盟

## 4. 協賛各社

(株)アートクリエイイト、浅香工業(株)、(有)アドワン、(株)アレフ小樽ビール、  
(株)アンビックス朝里クラッセホテル、(株)石井印刷、(有)石原運輸、(有)大森産業、  
小樽信用金庫、小樽スキー連盟アルペンクラブ、小樽旅亭 藏群、華婉、梶米穀(株)、  
(有)片桐仏壇店、菊池洋一税理士・行政書士事務所、(株)北川組鉄工所、(株)北日本広告社、  
旭進運輸(株)、協和総合管理(株)、(株)久保組、グランドパーク小樽、(医)熊澤歯科、  
興商物流(有)、こだま交通(株)、近藤工業(株)、(株)サイダ、西條産業(株)、  
(株)斎藤自動車整備工場、(有)澤田商店、(株)シーガル、(有)千成釜石商事、(有)創建社、  
杉商(株)、住吉神社、高橋燃料商事(株)、(有)タナカ・リフォームプランニング、  
(株)ディスワンオート木原、(株)富田、道央エンジニアリング(株)、長靴屋おたる、  
北海道コカ・コーラボトリング(株)、北海道新聞小樽支社、北海道ファミリー(株)、  
北宝堂(株)、(株)丸い遠藤商店、(医)三ツ山病院、宮本土建工業(株)、モリカワ産業(株)、  
(株)森田、P. K. B A R. A ・ kan

# 国際スポーツ雪かき選手権 IN 小樽 2014 活動報告書

---

## 5. 選手権の概要とスケジュール

### 1日目 (2014/1/25) Day1 (January 25, 2014)

11:30 受付開始 / Registration (Third Pier multipurpose open space)

#### 12:00~12:20 開会式 / Opening Ceremony

12:00 中松小樽市長挨拶 Mayor's speech 12:05 鈴木実行委員長挨拶 Suzuki chairman's speech 12:10 参加チーム紹介 Introducing teams

#### 12:20~12:50 競技準備 / Game preparation

12:20 抽選 (チーム分け) Draw 12:30 競技説明 (デモンストレーション) Demonstration

#### 12:50~14:30 スノーショベリング&ムーブトライアル競技 / Snow shoveling & Move Trial

12:50 Aブロック Block A 13:10 Bブロック Block B 13:30 Cブロック Block C

13:50 Dブロック Block D 14:10 Eブロック Block E

#### 14:30~14:40 採点と中間発表 / Scoring and interim report

#### 14:40~15:40 スノーマンコンテスト競技 / Snowman contest

#### 16:00~18:00 懇親会 / Exchange event (Otaru Beer | Otaru warehouse NO.1)

### 2日目 (2014/1/26) Day2 (January 26, 2014)

#### 9:00~11:30 ボランティア雪かき / Voluntary Yukikaki (snow shoveling)

9:00 メイン会場集合 Gathering at main site 9:10 注意事項伝達 Instructions

9:20 ボランティア雪かき会場移動 Move to Yukikaki area

9:40 ボランティア雪かきスタート Voluntary Yukikaki starts

11:10 ボランティア雪かき終了 Voluntary Yukikaki ends

11:30 メイン会場帰着 Back to main site

#### 11:30~12:00 閉会式 / Closing Ceremony

11:40 結果発表 Results

11:50 表彰式 Award giving ceremony

11:55 閉会の挨拶 Closing speech

# 国際スポーツ雪かき選手権 IN 小樽 2014 活動報告書

## 6. 参加チーム

4 人一チーム。外国人 8 チーム、日本人 11 チーム（小樽市以外 4 チーム、小樽市 7 チーム）が参加しました。

Khaosan Sapporo SUSHI	カオサン札幌 Sushi	Japan・Chile・USA
LOVE HOKKAIDO	LOVE HOKKAIDO (ラブ北海道)	China・Canada・England・USA
Shodai Kyodai	商大兄弟	Germany・USA・France
KIM STYLE	KIM STYLE	Spain・USA・Korea・Japan
Mars	Mars	China・Vietnam
MH love&peace	中港 love&peace	China
IC	IC	Korea
Khaosan Sapporo Mt.FUJI	カオサン札幌 Mt.Fuji	Japan・Hong Kong・Canada
JTB HOKKAIDO	JTB北海道	Japan (Sapporo)
T×T GARAGE Co.,LTD	ティーバイティーガレージ	Japan (Sapporo)
Coca-Cola Bottling	すかっとさわやかコカ・コーラ	Japan (Otaru)
Sports GOMI HIROI Assosiation	スポーツ GOMI 拾い	Japan (Kagoshima,Otaru)
TEAM SIZUOKA	TEAM SIZUOKA	Japan (Shizuoka)
TEAM KSK	チームKSK	Japan (Otaru)
Toyokura Elementary School	豊倉小学校	Japan (Otaru)
Tarushin	たるしん	Japan (Otaru)
Kyowa Shigyo A	共和紙業 A	Japan (Otaru)
Kyowa Shigyo B	共和紙業 B	Japan (Otaru)
TEAM BAKUWARA	チームバクワラ	Japan (Otaru)

## 7. 選手権の様子

### 【選手権一日目】

#### (1) 開会式

ご来賓の皆さま（右から、中松義治小樽市長、杉江俊太郎小樽商工会議所副会頭、中村裕之衆議院議員、谷口美津江小樽観光協会会長、山本憲治小樽法人会青年部長、栗田徹小樽青年会議所 LOM 開発室室長、以上敬称略）、開会式を待つ参加者と報道陣（以下二枚 YouTube「中村裕之活動報告 H25.1.25 (No200)」）



#### (2) スノーショベリング&ムーブトライアル【競技種目1】

雪かきはスポーツだ！の掛け声で気持ちを一つに



# 国際スポーツ雪かき選手権 IN 小樽 2014 活動報告書

5チームごとに約600kgの雪を10m離れた陣地に運ぶ  
体格に勝る欧州勢をテクニックで上回る地元チームが優勢



最初の競技は2分36秒の驚異的なタイムで地元小樽のチームバクワラが勝利



### (3) スノーマンコンテスト【競技種目2】

移動した雪を使って製作する雪だるまの個数と装飾を競う。制限時間は1時間



# 国際スポーツ雪かき選手権 IN 小樽 2014 活動報告書

国際色豊かな雪だるまが多数完成。参加者も満足そうな表情

豊倉小学校チームがLサイズの雪だるまを4基作って逆転。初代チャンピオンに



集合写真を撮影して初日の競技は予定通り終了



## (4) 交流会（小樽ビール | 小樽倉庫 NO.1）

初日の競技終了後は、小樽ビールに移動して、スタッフ、参加者、報道陣を交えて懇親会を開催。ここでも、全員で「雪かきはスポーツだ！」の大合唱



## 【選手権二日目】

### (5) ボランティア雪かき【競技種目 3】

参加者、スタッフ総勢約 100 名で潮見台地区のボランティア雪かきを実施  
雪かきがはじめてと言う道外からの参加者、留学生は最初苦戦していたようだが、コツを教えると楽しそうに作業をしていた



潮見台会館では婦人部の皆さまがお茶を入れてくれた  
地元住民との交流実現もプログラムの一部である



### (6) 閉会式

潮見台から多目的広場に戻ると、徐々に雪が激しく降ってきた  
閉会式が始まる頃には写真撮影できないほどの猛吹雪  
大会開催中は比較的暖かく、天候に恵まれたことは奇跡に近い



# 国際スポーツ雪かき選手権 IN 小樽 2014 活動報告書

## 8. 大会結果

総合 順位	チーム名	国籍	1st. STAGE			2nd. STAGE	合計ポ イント
			TIME	RANK	POINT	POINT	
RANK	TEAM	Nationality					TOTAL
1	豊倉小学校	Japan	3'58	9	170	1176	1346
2	チームバクワラ	Japan	2'36	1	250	1029	1279
3	すかっとさわやかコカ・コーラ	Japan	3'14	4	220	993	1213
4	共和紙業 A	Japan	3'34	6	200	946	1146
5	IC	Korea	4'08	10	160	865	1025
6	共和紙業 B	Japan	3'43	7	190	633	823
7	中港 LOVE&PEACE	China・Hong Kong	7'37	17	100	689	789
8	ティーバイティーガレッジ	Japan	3'11	2	240	417	657
9	チーム KSK	Japan	3'30	5	210	385	595
10	カオサン札幌 Mt.Fuji	Japan・Hong Kong・ Canada	5'18	12	140	445	585
11	MARS	China・Vietnam	9'28	19	100	459	559
12	カオサン札幌 SUSI	Japan・Chile・USA	3'51	8	180	346	526
13	LOVE 北海道	China・Canada・ England・USA	6'08	15	110	404	514
14	たるしん	Japan	3'13	3	230	282	512
15	商大兄弟	Germany・USA・ France	4'39	11	150	342	492
16	TEAM SIZUOKA	Japan	5'21	14	120	342	462
17	KIM STYLE	Spain・USA・Korea・ Japan	6'56	16	100	344	444
18	JTB 北海道	Japan	5'19	13	130	302	432
19	スポーツ GOMI ひろい	Japan	9'07	18	100	303	403

特別賞	中港 LOVE&PEACE	China・Hong Kong	7'37	17	100	689	789
-----	---------------	-----------------	------	----	-----	-----	-----

9. 報道

(1) テレビ局（放送順）

- 北海道テレビ放送（HTB）12/16（月）イチオシモーニング 他
- 日本放送協会（NHK）1/15（水）ネットワークニュース北海道生中継
- 札幌テレビ放送（STV）1/23（木）どさんこワイド 179 他
- 1/25（土）、26（日）、27（月）は道内全局から大会の様子を報道
- 北海道放送（HBC）1/28（火）今日ドキッ！もうひとホリ 他

(2) 新聞社

北海道新聞、読売新聞、産経新聞

12/14 付 北海道新聞（左）、1/26 付北海道新聞（右）、1/26 付北海道新聞（下）



# 国際スポーツ雪かき選手権 IN 小樽 2014 活動報告書

1/27 付 北海道新聞 (左)、1/28 付 北海道新聞 (右)



(3) 映像 (Youtube)  
共同通信社 (KyodoNews)



北海道新聞社 (DoshinWeb)



(4) ネット媒体  
小樽経済新聞、小樽ジャーナル

# 国際スポーツ雪かき選手権 IN 小樽 2014 活動報告書

## 10. オフィシャルサイトと facebook による告知活動

当連盟では、spoyuki.com を立ち上げて告知した他、facebook ページと連動して、活動の周知を行ってまいりました。

オフィシャルサイト



Facebook ページ（日本語版と英語版）



## 11. 気付きと課題

### (1) 参加者／見学者からの意見

留学生（小樽商大）「二日間は厳しい。一日だけならもっと参加者はいた」

留学生（北大・未参加）「電車賃＋参加費 3,000 円では参加できない」

参加者（中国）「同じ場所に二日間いるのは旅行者にとってコストパフォーマンスが悪い。一日のプログラムに」

見学者（オーストラリアから・テレビ局のインタビューに答えて）「見ていて楽しかった。今度来たときには参加したい」

### (2) 気付きと課題

#### ・ 悪天候を想定した競技変更と寒さ対策

今回は天候に恵まれたため結果オーライでした。悪天候の際のスケジュール変更や競技者の退避場所など十分だったとは言えません。

#### ・ スポーツ競技としての課題

運ぶ雪の量がチームによってバラつきがあったことや、雪だるまについては高さを得点の基準にしていたため、こけしのような雪だるまが登場しました。また、得点がスノーマンコンテストに偏ってしまい、スノーショベリング競技との配点バランスが悪いと感じました。

#### ・ ボランティア雪かき会場選定が難航

小樽市内各地域の状況を把握しきれなかったため、ボランティア雪かき会場の選定が難航しました。次回大会準備の際は最優先で行うべき作業でしょう。

#### ・ 事業収支の改善

初回でありスポンサー獲得は実現しませんでした。次回開催に向けての最大の課題でしょう。スポンサーの獲得は勿論のこと、補助金申請、参加費の適正な配分（今回はすべて懇親会費だったので、懇親会費：大会運営費＝5:5 くらいの配分などを検討すべき）、本格的なツアー造成によって参加チームを増やし、見学者への飲食販売を実施するなど、収入確保を考えなければいけません。

## 12. 今後の展望

厄介者の雪を地域の観光資源として再発掘することで、雪が降らない地域から訪れる観光客にとって魅力あるアクティビティが生まれることが証明されました。当連盟といたしましては、競技性を向上させてスポーツとしての完成度を高めると同時に、旅行商品として定常的に販売し受け入れる体制作りを進め、このアクティビティの価値を向上させるため、小樽市以外への普及、大会規模の拡大を目指して活動して参ります。イベントは明確なビジョンのもと、事業化へと導く戦略を持つことが重要です。イベントを開催する際は、誰にどのような価値を与え、それが一過性のものではなく継続的に小樽市全体のためになるのか？を常に考えなければいけません。